

藤田久雄副理事長のごあいさつ

今年の総会・理事会（2021.5.17）で副理事長を拝命しました藤田久雄です。

本年度から副理事長は3名体制になりました。他の二人は皆さま良くご存じの安宅一夫氏、伊藤正秀氏です。

私はクラーク会の遠大な構想は未来を拓く若者に生き方を教示し、夢と希望を与えるものと理解しました。この構想に共感し、また強いお誘いもあって、昨年秋、入会いたしました。

新米の私にこの様な大任は務まるのか心配しております。理事長・お二人の副理事長・理事の皆様からご指導いただき、会員の皆様のご支援をいただきながら職責を果たしていきたいと考えております。もとより微力ではありますが、所期目標のために全力で頑張ります。目標達成して再度「歓喜の歌（第九）」が我が街に響きわたることを夢見ております。

どうかよろしくごお願い申し上げます。

◆ふじた ひさお

1938年北海道帯広市生まれ。

北海道大学農学部卒。

北海道大学大学院農学院博士後期課程修了・博士（農学）。

1962年ホクレン入会、代表理事専務を務める。

ホクレン通商、ホクレン運輸、ホクレン肥料、

など関連会社の社長を務める。

2006年～2013年北海道地域農業研究所

理事長（現顧問）。

2003年より札幌交響楽団副理事長。

2004年～2020年北海道国際音楽交流協会理事長（現名誉理事長）。

「クラークフェスタ130」（2007.8.18）実行委員長。

「我まちの交響曲第九」（2011.11.13）実行委員会顧問・合唱団（182名）に参加。

合唱歴50年。

1978年より北広島市松葉町に在住。



クラーク博士別れの地・久蔵の里普及促進会組織図
(2021年5月17日現在)

